

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立森之宮小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	城東区
学 校 名	大阪市立森之宮小学校
学 校 長 名	山内 伸作

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立森之宮小学校では、第6学年 21名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立森之宮小学校の結果概要

森之宮小学校6年生（21名）の児童の集計結果は以下の通りである。

令和8年度は国語と算数の調査を行っている。

国語 64%（全国60.9% 大阪市59%）

算数 61%（全国56.4% 大阪市56%）

以上のことから国語、算数ともに全国や大阪市よりも5ポイント程度数値が上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

全体傾向として「情報の扱い方」「話す・書く」は全国・大阪市を上回っている。分析結果から、資料の読み取り、話す、書くことに関しては日頃の授業でも力点を置いていることからその成果が現れていると言える。しかし、全体傾向として「言葉の特徴・使い方」「読むこと」は全国・大阪市を下回っている。「不思議」という漢字の正答率が低く、既習漢字を含む書き取りや文章内での活用不足が課題である。また、文章理解や前後の文脈から文章の種類や構造・特徴を読み取る力を養っていくことが大切である。さらに、目的に応じて必要な情報を抽出・整理し、自身の体験等と結び付けて考えを形成する活動も必要である。

【算数】

全体傾向として「数と計算」「図形」「測定・変化と関係」「データの活用」の全4領域すべて、全国・大阪市を上回っている。毎日の学習の積み重ねの成果といえる。一方で、全国・大阪市と同様に課題のある設問は次の通りである。

体積の意味理解では、必要な情報だけを読み取り、立方体が何個分かという数値化して捉える力が苦手である。次に単位量当たりの大きさ（除法）では、「ペンギンの数 ÷ 面積」などの式の意味を捉え、商の大小から混み具合を判断する力に課題が見える。割合を表す図の読解や数値化、正しい図を選択したりする力を今後つけることが求められる。

分数の大小比較では、通分だけでなく、「分子が等しければ分母の大きさで比較できる」など、多様なアプローチでの判断・説明が必要である。表の読み取りでは、複数のデータや条件が示された表から、目的に応じた数値を正確に見つけ出し、必要な情報を組み合わせて処理・考察する力に課題が見られる。今後は、複雑な表やグラフから多角的に情報を読み解く指導の充実が必要である。

質問調査より

質問調査は以下の通りである。

「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」では、全国、大阪市より下回っているため授業の中で理解できなかったことはノート等を確認し、習得できていない箇所は休み時間等に見ることで理解に繋げてく。5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか」や「5年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか」では、全国、大阪府と比べて肯定的な意見が多いので今後も引き続き指導に活かしていきたい。

今後の取組（アクションプラン）

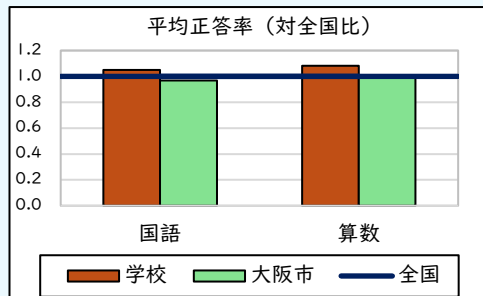
【国語】漢字熟語の定着と情報の整理・記述力の向上を授業を通して行う。単なる漢字書き取りにとどめず、短文作成や反復練習を通して文脈の中で使う力を定着させる。そのためには、文章構造の理解や段落ごとの中心文の把握や簡単な図式化により、説明文・物語等や展開を読み取る活動を行う。また、情報の取捨選択としてワークショップ型指導を通じ、目的に応じて必要な情報を抜き出し、再構成する力を養うようにしていく。さらに、思考・記述力の力をつける活動として、本文の内容に自分の体験や事例を結び付け、考えを深めて書く機会を増やしていく。

【算数】事象を多面的に見る力を育成していく。まず、体積の求め方は、「単位(cm^3 , m^3)の大きさのいくつか」という基礎に立ち返り、必要な情報のみ扱って考える力を養わせていきたい。次に、5年で学習する「単位量あたりの大きさ」の学習では、割り算の意味や商の表す意味を言葉や図で説明させ、混み具合や速さ等の結論を言語化させる活動を行う。そして、割合を視覚化し、数直線やテープ図を活用してもとにする量くらべられる量・割合(倍)の関係性を理解させる活動を行う。さらに分数の大小比較では通分だけでなく分子比較や小数化など複数の解法を使い分け、効率的な方法を選ぶ思考力を育てる。最後に、表の読み取りは3年生の段階から系統立てて表の読み取りや意味を言語化させ、分析力を高める学習に取り組んでいく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

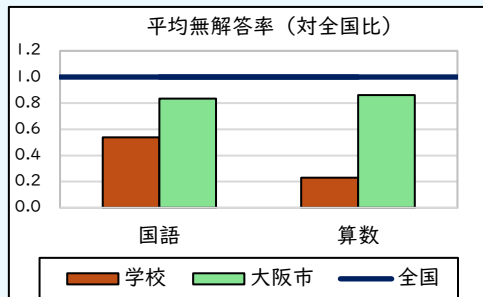
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	64	61
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



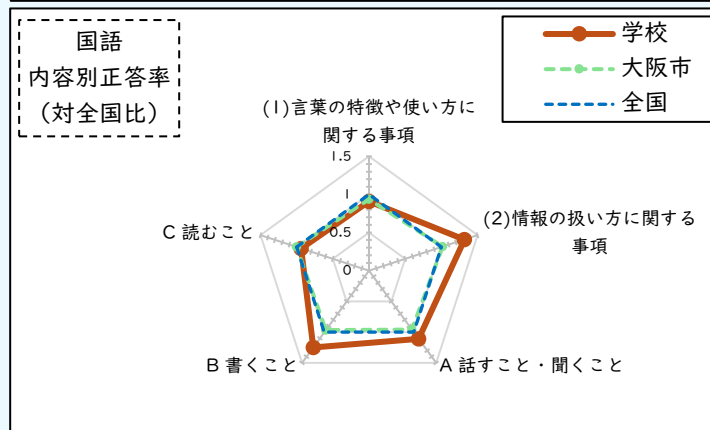
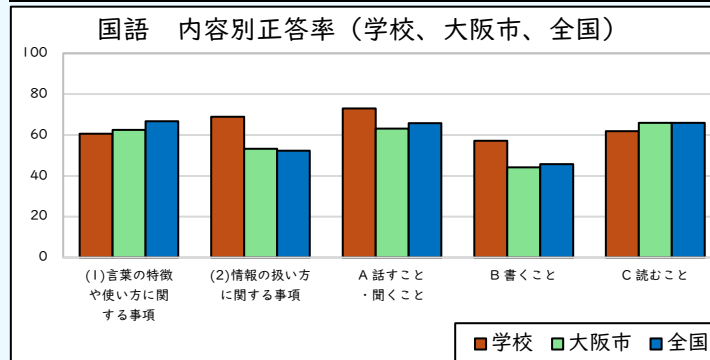
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.8	0.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



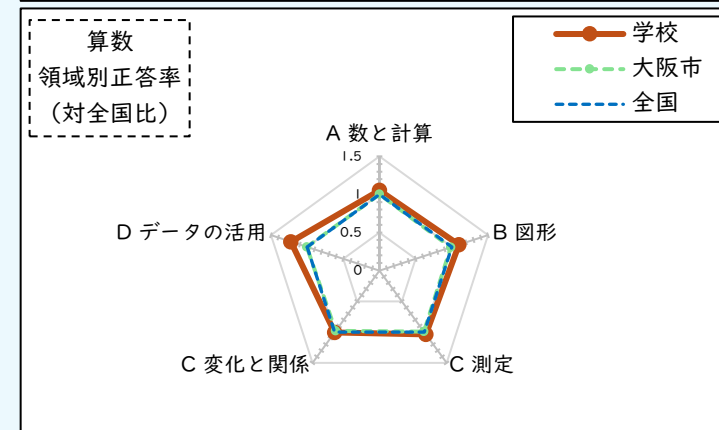
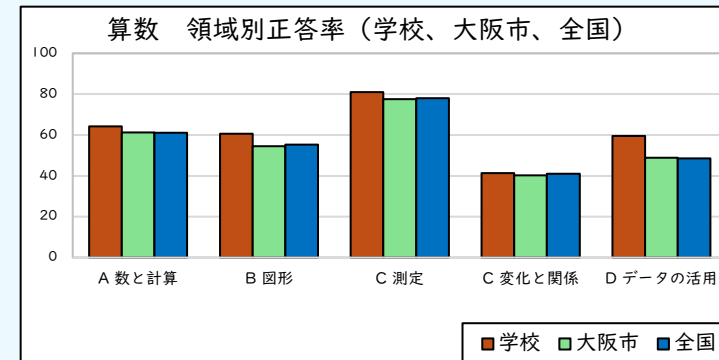
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	60.7	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	69.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	73.0	63.1	65.8
B 書くこと	2	57.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	61.9	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.3	61.2	61.1
B 図形	4	60.7	54.5	55.3
C 測定	1	81.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	41.3	40.3	41.1
D データの活用	4	59.5	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

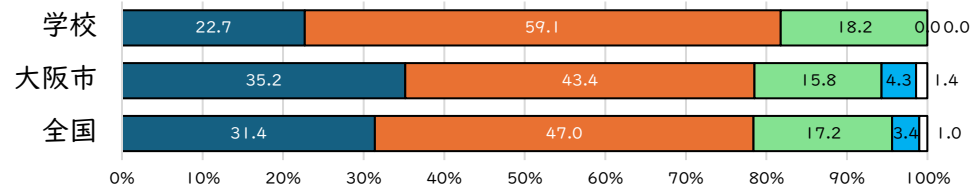
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(43)

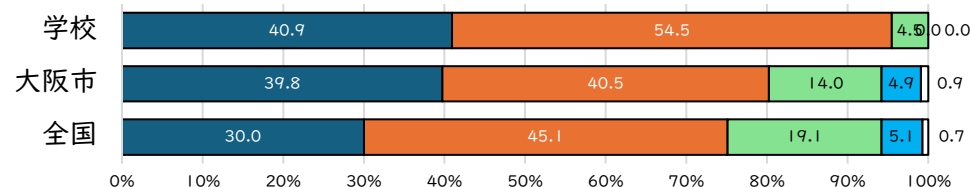
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(57)

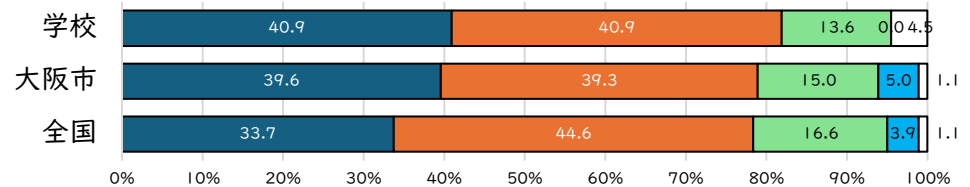
5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか



- 1 よくある
- 2 たまにある
- 3 ほとんどない
- 4 全くない

(59)

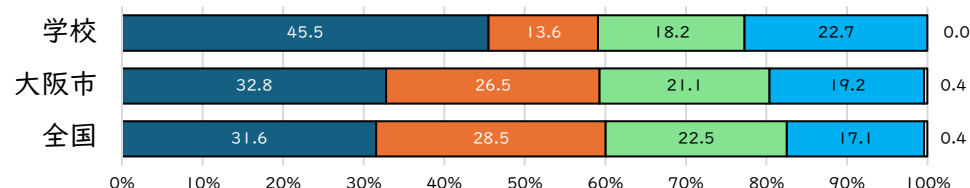
5年生までにうけた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか



- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 どちらかといえば、していない
- 4 していない

(60)

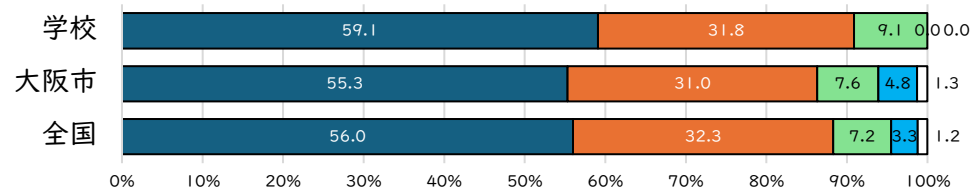
算数の勉強は得意ですか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(67)

5年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

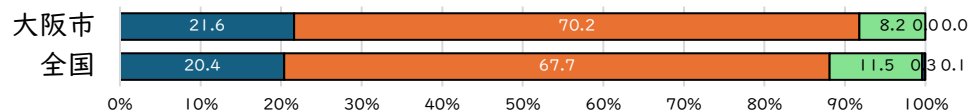
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

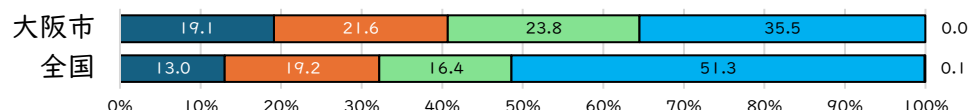


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(22)

特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施していますか

【学校の回答】 1 全学年で実施している

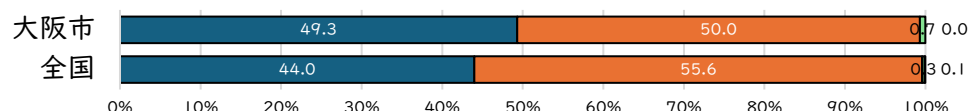


- 1 全学年で実施している
- 2 一部の学年で実施している
- 3 実施に向けて検討している
- 4 実施していない

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 2 一部取り入れている

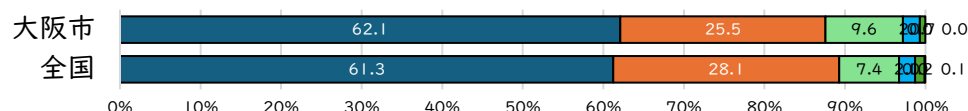


- 1 十分に取り入れている
- 2 一部取り入れている
- 3 全く取り入れていない

(15)

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

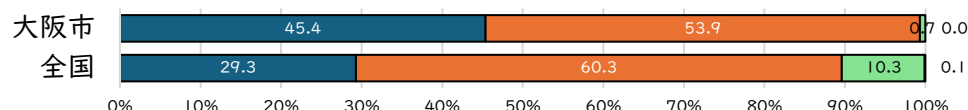


- 1 週に1回程度、または、それ以上行った
- 2 月に数回程度行った
- 3 学期に数回程度行った
- 4 年に数回程度行った
- 5 行わなかった
- 6 特に問題を抱えていなかった

(85)

令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか（学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む）

【学校の回答】 1 よく行った



- 1 よく行った
- 2 行った
- 3 ほとんど行わなかった